

オンテックス

新社屋、難波ビル竣工

記念パーティーで小笹会長が抱負

オンテックス(本社大阪市、小笹公也会長兼CEO、(電)06-6632-4116)はこのほど「オンテックス難波ビル」を竣工し、11月27日から業務を開始した。本



鏡割のしよう(左から2人目)小笹会長

社事務所は地上14階、地下2階建の高層棟、地上5階建の低層棟があり、前本社ビルの約15倍の1万3884平方メートルの延床面積となっている。

新社屋の各部署には、社員のモチベーションを高めるため、壁にそれぞれのイメージカラー・フレーズがデザインされている。新規事業立ち上げを行う経営企画室や、営業支援を担当する企画戦略部などにはオレンジ色の壁に「創意工夫」と描かれた。本社社員から集めたプロジェクトチーム

が決定した。

各フロアーへ入室する際は、セコムのセキュリティーカードの携帯を必須とし、安全管理の強化を実現している。また、地方支社から出張に来た社員専用の宿泊室を6部屋設け、「リフレッシュルーム」にはトレーニングマシンを配置した。

「社員が働きやすく、力の引き出しやすい環境作り」(小笹会長)にこだわっている。シヨールーム「オンテックスギャラリー」には、外壁、屋根などの主



要商材や、リビングや浴室のモデルルームを展示している。「コーポレートゾーン」では、社史、事業の説明を読むことができる。顧客と打ち合わせを行う「ミーティングゾーン」には、テーブル席のほかには畳席を用意した。

同社は12月4日、新社ビル「新社屋竣工記念パーティー」を開催した。小笹会長は、「今後もっと大きなビルを作れるよう、積極果敢に経営を続ける」と抱負を語った。